



祝 創立 150 周年



座光寺小 2022

座光寺風景

写真提供：(株)スカイネクスト

開校150周年！ はばたけ座光寺小学校

座光寺小学校
150周年記念に向けて
座光寺小学校長 塩澤 裕二

座光寺小学校は、本年度開校150周年を迎えます。地域の皆様には、「地域行事の中でも祝っていいこう」ということでご協力いただいております。この広報での特集もその一つです。また夏祭りには、「プロジェクトシオンマップピング」で祝っていたべく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となりました。3年ぶりの開催に期待は高まっております。

座光寺小学校
150周年記念を祝して
座光寺小PTA会長 北原 康宏

本校は今年開校150周年を迎えました。誠にありがとうございます。この長い歴史と伝統は、歴代教職員の皆様・PTAの皆様・地域の皆様方のご尽力により積み上げられ、今日の素晴らしい学校に発展されました。事に改めて深く感謝申し上げます。これまで私を含め多くの卒業生が巣立ち、現在も200名を超える子どもたちが、毎日元気に学んでいます。

私が在学中には、移転10周年事業が行われ、校庭で人文字を

が、誠に残念に思っています。校内では、航空写真・記念写真を撮りました。今後11月12日(土)に「記念式典」を行います。当日は、「アトラクション・セレモニー(含・プロジェクトシオンマップピング)」で子どもたちの活動の様子を発表したり、「座光寺の子どもを語る会」に子どもたちが参加したりする予定です。

本校の大きな節目を迎えるにあたり、子どもたちが未来へ羽ばたいてくれることを願っています。皆様のご理解ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

作り、中庭で集合写真を撮影したことを覚えています。あれから約30年の歳月が経ち、今度は保護者の立場で開校150周年という節目に立ち会えることに大きな喜びを感じております。

記念事業では、ドローンによる人文字の空撮、在校生による教育活動の発表や自治会による記念植樹など様々な活動が計画されています。子どもたちにとって大人になっても記憶に残る1年となれば幸いです。

これからの明るい未来を生き抜く強く心優しい子どもたちが育つことを願い、お祝いのあいさつとさせていただきます。

河川の水質検査をしました！数値が良くなりました

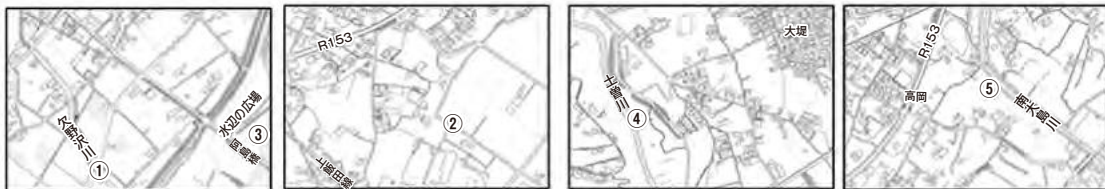
環境衛生委員会では、河川等地区内5カ所において水質検査を実施しました。委員会事業として毎年実施している水質検査ですが、昨年度に引き続き、市環境アドバイザーの浅野清志先生にご指導をいただき実施しました。検査結果は以下の通りです。

検査結果

採取日：6月1日（水）午前10時～11時 天気：晴れ 気温：24～30℃

採取場所	PH	BODmg / l	SS(浮遊物質)mg/l	窒素含有量mg / l	大腸菌群数コ/ml
①欠野沢川 (中水用水路合流地点)	7.6 (7.5)	1.5 (2.0)	7 (10)	2.5 (2.7)	150 (450)
②白山下	7.4 (7.4)	0.8 (1.4)	5 (11)	2.2 (2.2)	48 (120)
③水辺の広場内	7.8 (7.9)	1.4 (2.0)	6 (10)	1.4 (1.3)	120 (150)
④土曾川 (宮崎地籍)	7.4 (7.5)	0.6 (0.7)	2 (3)	2.6 (2.2)	61 (130)
⑤南大島川 (高岡地籍)	7.4 (7.5)	0.8 (1.7)	1 (2)	1.4 (1.2)	19 (54)

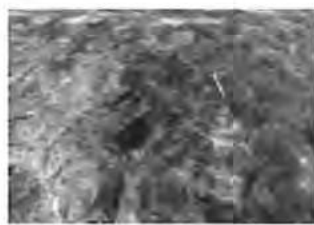
※ () の数値は昨年度の結果 (R3.6.15採取)



座光寺地域では、第2次座光寺地域基本構想・基本計画において、地域内の小川を汚さないように努め、清らかな水が流れ、魚の住める水質環境を保つためBOD2mg/l以下を維持することを目標に掲げています。

結果について (環境アドバイザー浅野先生によると)

- 環境衛生委員会や地域の方々が、河川清掃や水質検査を行うことで関心を持ち、川が汚れないようにしていることが水質に表れていると思います。
- 河川清掃をしないと秋に枯れた草が春になってから流れていき、下流域が詰まってしまう危険性があります。
- 欠野沢川の採水箇所には藻ができており、これは川の状況が良い場所にしかできません。



環境衛生委員会では6月1日(水)、飯田市環境アドバイザーの浅野清志先生に指導していただきながら、水辺の広場・欠野沢川・南大島川・白山下・土曾川の5カ所で採水しました。河川清掃を行って川の流れを良くしておくことの大切さや、川の中の植物が水を浄化していることなどを浅野先生から教え

ていただきました。検査の結果、数値が良くなっていると分かった時には嬉しかったです。これからも、子どもたちが川で遊んでも問題のない水質と、ホタルや魚などの生物が息できる環境を保っていかれたら良いと思います。

環境衛生委員会 環境部長 今村みつる

【検査項目について】

PH(水素イオン濃度)
酸性・中性・アルカリ性を示す指標。河川の環境基準は6.5以上8.5以下。
BOD(生物学的酸素要求量)
BODが高いということは溶存酸素が欠乏しやすいことを意味し、10mg/l以上では悪臭の発生の障害が現れ始める。
SS(浮遊物質)
水中に懸濁している不溶性の粒子状物質のことで、粘土鉱物に由来する微粒子や、動物性プランクトン及びその死骸、下水・工場排水などに由来する有機物や金属の沈殿などが含まれる。
窒素含有量
窒素は空気や土などに含まれており、雨や地下水や川の水に溶け込んで流れていく。町の中を流れている川には家庭や工場からの排水が、田んぼや畑の近くを流れてきた川にはたくさん肥料が流れ込んでくる。
大腸菌群数
大腸菌群は一般に人の腸管内に存在するもので、これが水中に存在することはその水が人畜のし尿の汚染を受けた可能性があることを意味する。

夏祭り中止と秋祭り開催について

自治会社会部長 宮崎 勲

去る7月23日(土)に開催予定でした座光寺夏祭りは、開催1週間前よりコロナ感染者が爆発的に増加し、医療警報が発令され、アトラクションとして出演予定の各団体から出演辞退の連絡をいただくという事態になりました。飯田・下伊那管内の新規コロナ感染者が連日100人を超える中で、多くの人が集まる夏祭りをこのような状況で行うべきか緊急会議を開き、とても開催することは無理である、との結論に達し、中止を決定しました。しかし、今年度は座光寺小学校150周年にあたり、11月の記念式典に合わせて秋祭りとして再度開催したいと計画をしています。コロナ感染拡大が収束を見せない中、大きなイベントが行えるかまだ見通せませんが、皆様に楽しんでもらえるような秋祭りになりたいと願い、準備を進めていきます。

座光寺地域文化祭 「芸能発表会」

開催について
文化部長 藤田 明彦

座光寺地域文化祭第一弾「芸能発表会」を来る10月22日(土)に開催いたします。一昨年来、新型コロナウイルス感染症拡大による世界を取り巻く感染状況の中、当地域の文化祭も2年続けて中止という結果になっております。

年間を通じ日々活動に励んでおられる各団体やサークル等、みなさんの発表の機会がなかなか設けられない昨今の現況を鑑み、例年比較的に状況が落ち着いているこの時期に何かアクションを起こ

座光寺地域市民運動会 残念ながら今年も中止

体育部長 柳沢 竜治

10月9日(日)に開催を予定しておりましたが、座光寺地域市民運動会について、新型コロナウイルス感染症拡大状況を踏まえ、中止いたします。開催を楽しみにされていた方には誠に申し訳ありませんでした。

体育部では去年から何とか運動会を開催できないかと検討してきました。半日開催・種目の検討・

こせないか?と考えたところ、文化祭を分離開催して「芸能発表会」を開催する運びとなりました。日頃の成果と数年来発表できなかったことも含め、ぜひこの機会に思う存分発表をしていただきたいと思っております。

まだまだ感染状況について先行き不安なところはありますが、みなさんと共に開催できることを楽しみにしつつ願うところであります。

地域のみなさんにも大勢の方にお越しいただき、交流と親睦の輪「文化祭 芸能発表会」を一緒に盛上げていただきたいと思っております。

コロナウイルス対策など、地域の皆様に地区の交流の場として楽しんでいただける運動会の開催を検討しましたが、感染警戒レベル6になり地域の皆様の健康と安全を確保するため、中止の判断をさせていただきます。運動会は中止ですが、感染警戒レベルの様子を見ながら、地域・地区の交流の場を提供し、皆様に安心して参加していただけるよう、企画をさせていただきますと思っております。その時にはぜひ大勢の方にご参加いただきたいと思っております。よろしくお願

清楚な花に心洗われる 南本城植物見学会

麻績の里振興委員会は6月4日(土)、南本城植物見学会を2000年浪漫の郷委員会との共催で開催した。自治

会役員を中心に23人が参加し、早朝の山道を1時間余り散策。県の希少野生植物に指定されているササユリなど、この地に自生している多様な植物について、「伊那谷自然友の会」小林正明先生の解説で学んだ。

麻績神社脇の遊歩道をゆつくりと進みながら、途中途中で足を止め、植物の特徴や名前の由来、似た植物との見分け方等、興味深いお話を耳を傾けた。

座光寺地域ではこの里山にだけ自生するというササユリはこの日、同会が手入れた薄



南本城に自生するササユリ

ピンクの花を咲かせていた。山野にこそ似合う美しさである。多くの人にこの里山を知っていただきたい。

「伝わる」ってなんだ? 情報発信研修会を開催

8月10日(水)座光寺公民館において「地域情報隊」の情報発信研修会が開催されました。

今回の研修会は座光寺のウェブサイトをより良くするため毎年開催されていて、本年は、「ポストコロナ時代の『伝わる』ってなんだろう」と題して、クリエイティブディレクター・コピーライターの佐々木公美子さんをお迎えして研修を行いました。

佐々木さんは、研修会の中で、「伝える」と「伝わる」の違いから、「共感とファン」がカギだと語り、ワークショップなども交えて、実際のホームページの記事を、「伝わる」ポイントを解説してくださりました。

この会を主催した、ふるさと応援クラブの湯沢和行さんは、「座光寺にゆかりのある方を迎え、大勢の方の参加もいただけて、大変有意義な会になった。ワークショップなどは、大変勉強になった」と、感想をおっしゃっていました。14名参加。

持続可能な地域社会とは? 東京農工大学生 座光寺で学習

東京農工大学の学生9名が、6月11日(土)に座光寺を訪れました。目的は持続可能な地域社会を実現するために何が求められているのかを、地域・自治体のまちづくりに学ぶためです。まず、公民館長から座光寺の自治体組織などの説明を受け、パノラマファーム大門に移動し、長沼場長の話を聞きました。その後、麻績史料館に移動して歴史に学び地域をたずねる会の田口会長の話を聞きました。次に、公民館広報部の活動を筆者から紹介しました。

学生からは「生まれも育ちも東京で自然から遠かったのですが、パノラマファームは見晴らしが良く新鮮でした。とてもよかったです」「自分の生まれ育った地域について興味を持つてもらうにはどうしたらよいか考えるきっかけになりました」という感想が聞かれました。



令和四年度 壬寅 御開帳

今までと違う御開帳

元善光寺では4月3日(日)から6月29日(水)までの88日間の日程で、御開帳が開催されました。

御開帳を終えた本多秀道住職にお話を伺いました。

——新型コロナの影響で、1年遅れ、期間の延長での御開帳となりましたが、今までとの違いはありましたか？

住職 やはり感染対策に気を遣いました。特にお戒壇巡りでは、参拝者が数珠つなぎになつていたので、どうやって間隔を空けるか悩みました。消毒と砂時計を設置し、前のグループが発してから砂時計をひっくり返し、砂が全て落ちたら進むようにしました。密にならずにお参りできると好評でした。また、今回は、自家用車でのお越しが増えることを想定してエス・バードからシャトルバスを準備いたしました。



本多住職に御開帳について伺いました

——御開帳の魅力を教えてください。

住職 普段、秘仏となつて前立のご本尊様のお姿を見ることができるのが最大の魅力であります。ご本尊様の指と回向柱が結ばれるのも御開帳の時だけです。回向柱を触ることで、仏様の体を触りながらお参りができるのと同じご利益があります。今回の御開帳では、初めて限定の御朱印を用意しました。元善光寺は限定の御朱印がありませんでしたが、多くの参拝者の方々からの要望があり、急遽作成いたしました。回向柱に5色の綱が結ばれた様子をイメージしました。今回の御開帳も限定の御朱印を用意しようと思ひます。



期間限定の御朱印

——御開帳はいつ頃から始まったのですか？

住職 江戸時代の古文書には、ご本尊様を江戸や大阪にお運びして開帳する「出開帳」ということをしていた記録がありますが、現在のような御開帳が始まったのは戦後だと思ひます。

——御開帳期間は夜中もお参りができるんですか？

住職 はい、お参りいただけます。善光寺は夜になるとお厨子を閉めますが、元善光寺はお厨子を閉めません。御開帳期間中はずっと開いていまして、お姿を見てお参りいただけます。遠方の方が、善光寺をお参りした後に、遅い時間でも元善光寺にもお参りしていただけるようにしています。実際に参拝時間の問い合わせは多くありました。

元善光寺は座光寺小学校開校の地でもあった

——話は変わりますが、座光寺小学校の沿革に「明治5年6月 筑摩県第三十二小校と称し、如来寺に開校」とありますが、元善光寺のことですね？また、どの場所で開校したのですか？

住職 このころは「元善光寺」より「如来寺」の方が一般的な呼び方でした。ご本尊の阿弥陀如来様に親しみを持って呼ばれていたと思ひます。場所は正確に分かりませんが、現在の平和殿か客殿だと思ひます。

——座光寺小学校が150周年を迎えました。これに向けてコメントをお願いします。

住職 校歌にも「寺」が出て

きますし、如来寺に開校されたということもあり、とても名誉なことであると感じます。150年という長い間、私も含め大勢の子どもたちが学んで卒業した歴史のある学校です。今後も大勢の子どもたちが学んでいける学び舎であつてほしいと思ひます。

次回の御開帳に向けて

——御開帳の話に戻りますが、次回の御開帳はいつになりますか？

住職 通常であれば丑年・未年と決まっていますが、善光寺御開帳奉賛会で決めるのでそれを受けて善光寺と同時に開催します。

——座光寺の皆さんにメッセージをお願いします。

住職 地元の皆さんには、とてもお世話になっております。また、多くの参拝者による渋滞などでご迷惑をおかけしております。地元の皆さんのご協力がありまして、お寺が存続できております。ありがとございます。新型コロナが収束しましたら県外からも大勢お参りしていただき、地域経済にも貢献したいと思ひます。今後とも、「座光寺にある元善光寺」ということでもよろしくお願ひします。



7/15

いいだ人形劇 プレフェスタ



7/22

座光寺保育園 夏祭り



上郷考古博物館

見学体験ツアー

健全育成部 星野 利宏

6月26日(日)に上郷考古博物館で見学体験ツアーを開催し、定員一杯の8家族20名が参加しました。

最初は古銭作り体験です。古代のお金である富本銭と同開珎を模した型に、溶かした金属を流し込む、鑄造という古銭の製法と同様な方法で作りました。講師の先生の指導により、子どもたちと保護者で苦勞しながらも楽しく古銭作りができました。



その後、博物館に展示されている飯田下伊那地方の原始から古代の出土物を見ながら講師の先生から説明を受けました。特に恒川官衙遺跡の出土物については皆興味津々でした。
麻績の里体験学校として初めての企画でしたが、好評でしたので来年も計画をしたいと思えます。

古文書が読めたら

世界が広がる

ゼロから始めよう古文書講座

古文書講座が、毎月1回のペースで開催されています。

昨年の9月からスタートしたこの講座は、座光寺に残る古文書を読み解き、先人たちの生活や考えを知ることが目的としています。主催は、歴史に学び地域をたずねる会と、座光寺公民館。受講者は約20名で、講座のスタンスは、次の3点です。

- ①まったくの初めての人のためのゆつくり読み進めます
- ②みんなでワイワイ話し合いながら読みます
- ③「古文書は奥が深いです。でも日本語です。少しずつ読めれば必ず読みこなせます」と話すのは、講師の羽田真也さん(飯田市歴史研究所研究員)。エピソードを交えて、優しく指導してくれま

す。ここで問題です。次の文字は何と読むでしょうか？

問① 人名



問① 面積

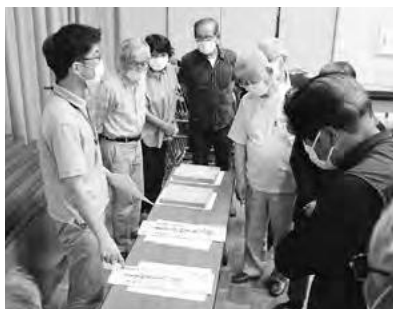


問① 元号



『座光寺村田方永引帳』より

参加者からは「古文書を読み、時代をさかのぼって歴史を見つめなおし、今後の人生に生かしたい」と意欲的な声も聞かれました。皆さんも趣味の幅を広げるように受講してみてはいかがでしょうか。
問①平七 問②三畝(答え) 問④正徳五年)



古文書を指し、熱弁する羽田さん

6月の地域探訪と10月の研修旅行について

歴史に学ぶ地域をたずねる会 田口博人

6月25日(土)に19名の参加を得て、講師に山内尚己さん(前飯田市文化財審議委員)をお願いし、「南信州の関所をめぐる(2)」の地域探訪を行いました。一箇所目に飯田市上久堅越久保の小川路峠にあった越久保番所(秋葉街道)へ向かいました。車では現地まで行けないので18番観音霊場の前で、当時のことを思いながら説明を受けま



旧満島番所跡:天龍村

した。二箇所目に天龍村の旧満島番所跡と満島番所(南遠山家)を見学しました。番人の任務は森林の乱伐を防いだり、盗木・緒材木の取締りをするものでした。天竜川の船着場(檜ヶ淵)は材木など通行物資の改めを行った場所でした。三箇所目に飯田市南信濃八重河内にある梁木島番所(秋葉街道)を目指しました。国道152号線を和田から八重河内に入ると、三遠南信道路の工事が大分出発してました。番所は川沿いの山の中にありました。番所の任務は材木及び林産物の改め、通行人の取締りでした。当時の通行人は本当に大変だったと思えました。他二箇所は省略(地域探訪終)

10月2日(日)から4日(火)まで、歴史に学ぶ地域をたずねる会・座光寺公民館・2000年浪漫の郷委員会の共催で四日市・広島・姫路方面への研修旅行を計画しております。今年恒川史跡公園のガイダンス施設の設計も出来るので他の先進地を見学し、今後公園工事の参考になればとの思いです。

飯田市コーラス

グループ発表会

コーブルランテ 勝野久美子

7月3日(日)、飯田文化会館にて飯田市コーラスグループ発表会が行われ、市内の各公民館で活動する17グループが参加しました。ここ数年コロナ禍で、どのグループも練習の時間を確保するのが難しく、大変な時期もあったと思いますが、発表できることの喜びを感じながら広い会場に響かせた素晴らしいハーモニーは本当に感動的でした。やっぱり生の音楽は良いですね!!

私たち、コーブルランテも参加し、心を込めて2曲歌いました。奇跡的にコロナの影響が落ち着き、久しぶりに有観客で開催された発表会。会場内のお客様の大きな拍手はとっても嬉しかったです。



夏の交通安全 やまびこ運動人波作戦

生活安全委員会委員長 牧野 良

夏の交通安全やまびこ運動（7月22日～31日）に合わせて、22日（金）朝、平安堂前で「人波作戦」を実施しました。6時45分から7時30分まで黄色の帽子とベストを着用した生活安全委員他約40名の人が、黄色ののぼり旗を手に交通安全を呼びかけました。40名余の「黄色の波」は、ドライブバーへ、①子どもたちを交通事故から守る②高



齢者と歩行者を交通事故から守る③自転車のルール遵守と安全利用④飲酒運転を始めとする悪質・危険運転の根絶をアピールすることができたと思っています。

図書館お楽しみ会

分館長 金田 真理

7月9日（土）に座光寺分館の夏のお楽しみ会が行われました。

15名の親子の皆さんが参加しました。始めに「ねずみのおよめさん」の絵本の読み聞かせをして好きなお話の場面を絵にかいてみました。幼児から小学生のお友達が自由のびのびとお絵かきしてくれました。

次にもう一冊別の絵本の読み聞かせをしました。みんなよく聞いてくれていました。



最後に子どもたち全員で自分のかいた絵をもって記念撮影。おみやげのお菓子ももらって楽しい時間が過ごせました。図書館では年2回お楽しみ会をしています。ぜひ皆さんご参加ください。

子どもたちの 歓声が溢れる

水生生物観察会

7月17日（日）に、水辺の広場にて「水生生物観察会」が開催されました。子ども27名、大人16名が参加し、まずは環境衛生委員の指導でゴミ拾いを実施。その後は、お待ちかね、水生生物の捕獲。指導は大原均先生。水生生物を観察した後は、浮き輪を使って川遊びを楽しみました。雨が降ってもお構いなし。元気が川遊びを楽しみました。

大好きな川

座光寺小4年 熊谷 颯真

水生生物かんさつ会で楽しかったことは、他のひとたちときょう力して魚を取ったり、うきわをつかってあそんだことです。水生生物のかんさつでは、小さい魚がいたり、どじょうや、他にいろいろな生き物がいました。天りゆう川には、色んな種類の魚がいることを知りました。つかまえた魚の中で、どじょう・ナマズ・ウグイを育てることにしました。中でもナマズが一番のお気に入りです。名前はナマズのナマと特ちょうのヒゲを取って「ナマヒ

ゲ」です。大切に育てたいです。

川遊びは、石がゴツゴツしていたり流れが早い所があったりして、楽しくて何回も遊びました。大好きな川で友達



と色々な水生生物を見るのが嬉しかったです。

地域人学習 アンケート協力をお願い

飯田OIDE長姫高校

はじめまして！飯田OIDE長姫高校商業科です！

私たちは、「課題研究」という授業で1年間座光寺地区の課題を見つけて解決策を考え実行し、地域の活性化に繋げる活動をしています。

今後の活動の参考にするため、アンケート調査をお願いします。このアンケートはQRコードでお答えください。



1. 性別、年代をお聞かせください。

2. この地区にお住まいですか。

3. 遊休農地の有効な活用を考えて地域の活性化に繋げる取り組みをしているパノラマファーム大門を知っていますか？

4. パノラマファーム大門のキャラクターにはまだ名前がありません。ぜひ名前を考えてみてください。



①リンゴがモチーフになっています。



②アサギマダラという蝶がモチーフです。

5. 私たちは活動の最終的な目標としてパノラマファーム大門の看板作りを行い、大勢の方にこの場所を知っていただけるようなイベントを開催しようと考えています。このようなイベントに参加したいと思いませんか？

【思う
・思わない
・わからない
・わから
ない】

回答期限
9/29（木）まで



座光寺の自然シリーズ ⑳ サカキとソヨゴ

麻績神社の境内、近年になってサカキが見られる。神社周辺の数か所、所によってはかなりの数で、大きなものは2mを越す。一体なぜ？率直な疑問。と同時に麻績神社の関係者にはちよつとうれしニュースである。

サカキと神事

神事になぜサカキを使うのだろうか？調べてみるといくつかのことが分かった。サカキ(榊)は本来常緑樹の総称だった。それを玉串や白い紙をつけた御幣などの神事に使ったが、サカキに統一された経過は不明だ。数ある常緑樹の中で、葉の形や見た目の美しかったことではなかったかと思われる。



サカキの葉と果実；葉の表面・葉縁は滑らか。果実は小豆より少し小さく秋に熟す。



サカキの代用

サカキの自生が無い麻績神社ではサカキの代用として常緑灌木のソヨゴを使う。葉が少し波打って、葉表はくすんだ



サカキの冬芽；芽はこのように弓形に曲がっている。このような芽をもつ種類は他に無いから見分けは容易だ。

サカキのタネはどこから？

なぜ麻績神社にサカキが生えたのか？自生の様子から誰かが蒔いた形跡は無い。おそらく鳥がタネを運んだに違いない。麻績神社の周辺を調べたがサカキのタネを供給しなかつた。ではどこに親木がある？どのように運ばれた？



ソヨゴの葉と果実；座光寺では標高約700mまで普通に分布。

サカキの自然分布

サカキの自然分布は本州の海岸付近、関東地方まで。多くの暖地系植物が本州の脊梁山地を避けて、海沿い沿岸部をU字形に北上しているのと同じだ。飯田市内には自然分布が無いものの、植栽された樹はいくつかある。

私の知る限り麻績神社に最も近い植栽は上郷の飯沼諏訪神社。5mほどの木が数本あって種子も稔る。麻績神社から直線距離で約2km。運んだのはおそらく小鳥。この距離は鳥が運ぶには限界の距離だ。「なぜそんなに短いのか？」実は小鳥はお腹いっぱい食べると体が重くなって長距離を飛ぶことが難しい。一般に鳥は体を軽くするために、消化時間が短い。このことはいくつかの寄生樹の分布状態でも見ることができる。

麻績神社の神事には近々、本来のサカキが使われるようになるだろう。神様だって代替よりも純正品のほうがご機嫌だろうし、願ってもよく叶えてくれるかもしれません。

(伊那谷自然友の会 小林正明)

編集後記

お練り祭りや、元善光寺の御開帳も一年遅れとはいえ行われ、新型コロナウイルスの流行も落ち着いてきたと思つた矢先、7月下旬より再度の流行により毎年恒例の人形劇フェスタや飯田りんごんは中止となった。

ウィズコロナ生活の難しさを感じる中、慣れないことが一つ、「マスク」。約50年の人生の中で、風邪でもなく、花粉でもなく、まして真夏の炎天下のマスクなどコロナの流行の数年まですることはなく、夏の時期のマスクには違和感を覚える。それでなくても、今年は梅雨があつという間に明けてしまい、例年よりも日差しが強い。

マスクは昨年もしていたはずだが、昨年より不快感が強く蒸れて暑い(うーむ)。外したいが外せない。一日も早い平穏な日常が戻ることを願おう。

(広報柏木)

